

アルミ鋳造品メーカーの北陸軽金属工業(本社・東京都板橋区、社長・佐々木毅氏)と銅合金の鋳造品・鍛造品メーカーの大和合金は18日まで東京ビッグサイトで行われた機械要素技術展に出展した。機械部品や加工技術などを対象とした大規模展示会。両社は同区産業振興公社のコナー内にそれぞれブースを設けて、技術力やアイデアを生かした素材や製品を紹介した。

北陸軽金属工業・大和合金 機械要素技術展に出展



北陸軽金属工業の個人向け調度品④、大和合金のブース

・ジルコニウム合金素材に加え、現在研究開発を進めている3Dプリンタ用の銅合金粉末などをPRした。

北陸軽金属工業では、複雑な造形が可能な砂型用3Dプリンタを生かした製品群などを出展。自動車用のサブフレームと呼ばれる構造部品などを紹介した。北陸軽金属工業では、指している一般消費者向けの新規事業化を目的とした照明などをブースに並べた。大和合金では航空機用のアルミ青銅素材や鋳物用木型の加工ノウハウのアルミ青銅素材や、溶接電極素材、核融合実験炉用の銅・クロム